



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名 株式会社オウチーノ 上場取引所 東
 コード番号 6084 URL http://www.o-uccino.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井端 純一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)村田 吉隆 (TEL)03(5402)6887
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	955	—	△82	—	△82	—	△75	—
26年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 △75百万円(—%) 26年12月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△63.19	—
26年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 平成27年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。
 2. 平成27年12月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	1,126	751	66.4
26年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 747百万円 26年12月期 —百万円

(注) 平成27年12月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年12月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日~平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,608	—	20	—	20	—	17	—	14.31

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成27年12月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年12月期3Q	1,288,500株	26年12月期	1,286,100株
27年12月期3Q	100,000株	26年12月期	100,000株
27年12月期3Q	1,188,371株	26年12月期3Q	1,229,367株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成27年12月期第1四半期会計期間より連結決算へ移行しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、円安と株高の一進一退を背景に、企業の生産活動が底固く推移する中、個人消費に持ち直しが見られるなど、景気は緩やかな回復が持続しました。また海外においては、米国経済が好調な一方で、人民元の切り下げに象徴される中国の経済成長の鈍化や、欧州地域の不透明な景況感の継続が見られました。

当住宅・不動産業界の新築不動産においては、平成27年9月に首都圏で新規供給されたマンションは前年同月比27.2%減の2,430戸と、発売先送りなどから4ヵ月ぶりに減少となりました。一方、近畿圏では前年同月比1.7%減の1,798戸と、3ヵ月連続で減少となりました。契約率では首都圏が66.0%、近畿圏が67.9%と、いずれも好調ラインの目安とする70.0%を若干下回っております。(不動産経済研究所調べ)

一方、中古不動産においては、平成27年9月の首都圏のマンションの成約件数は前年同月比5.7%減、成約価格は7.6%増、また戸建て住宅の成約件数では前年同月比0.8%減、成約価格は7.0%増となりました。成約件数の上昇率は一服しつつあるものの、成約価格では概ね首都圏の全地域で前年同月より増加しており、消費者の購入意欲は依然として堅調に維持されています。(東日本不動産流通機構調べ)

このような環境のもと、当社におきましては、中期成長戦略“VISION 2017”の一環として、海外の不動産投資物件を紹介するポータルサイトの運営を通じて、10ヵ国13都市に及ぶ“海外不動産投資セミナー”を積極的に展開しました。

一方、住生活関連分野では、「クチコミ」と「評判」で探せる医師・医療施設検索サイト「Dr.0-uccino(ドクター・オウチーノ)」において全国約17万件の医療施設情報と8万件のユーザーのクチコミ情報の更なる拡大と並行し、新たな開発準備を進めるなど、企業価値の一層の向上に努めてまいりました。

また前四半期より引き続き、費用対効果に配慮しつつ、「0-uccino」ブランド浸透のためのプロモーションを積極的に展開してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は955,458千円、営業損失は82,267千円、経常損失は82,071千円、四半期純損失は75,097千円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

①住宅・不動産関連ポータル事業

当セグメントにおきましては、前四半期より引き続き、持続的成長のためのユーザーインターフェースの改善に努めた他、平成27年9月に消費者(施主)が自ら商品(設備機器)を購入し、工事のみをリフォーム会社に依頼する“施主支給リフォーム”に対応したリフォーム会社の紹介を開始するなど、新たなサービスの提供に努めてまいりました。

一方、インバウンドの成長戦略の実現に向けて、当該事業の社内資源をその他事業の一部、海外不動産投資事業に集中投下したことから、損益面では引き続き広告戦略の効果検証に基づく広告宣伝費の合理化等を継続してまいりました。

この結果、住宅・不動産関連ポータル事業の売上高は676,643千円、セグメント損失は72,636千円となりました。引き続き、迅速に媒体力及び営業力の強化に努め、業績の向上に努めてまいります。

②インターネット広告代理事業

当セグメントにおきましては、インターネット広告にニーズのある中堅企業にたいし、リスティング広告及びアドネットワーク広告等を提案することにより代理店手数料を獲得し、堅調に業容拡大に努めてまいりました。

この結果、インターネット広告代理事業の売上高は240,937千円、セグメント利益は7,178千円となりました。引き続き、営業力強化により事業の拡大に努めてまいります。

③その他事業

当セグメントにおきましては、リフォーム・リノベーションの相談窓口「住まいソムリエ」、海外不動産の購入・売却におけるユーザーサポートを行う海外不動産投資事業、不動産売買や賃貸のノウハウ取得を目的として設立した子会社㈱スペースマゼラン、また全国の医師・医療施設の検索・クチコミを閲覧できる医療系ポータルサイト「Dr.0-uccino」の運営等により構成されております。

この結果、その他事業の売上高は40,016千円、セグメント損失は17,124千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,039,151千円となり、主な内訳は、現金及び預金644,713千円、売掛金163,846千円、前渡金196,772千円であります。また、固定資産は87,762千円となり、主な内訳は、差入保証金42,967千円、建物附属設備18,212千円、ソフトウェア18,032千円であります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,126,913千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は375,028千円となり、主な内訳は、短期借入金200,000千円、未払費用41,739千円、買掛金37,680千円、未払金31,832千円、前受金26,907千円であります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は375,028千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は751,885千円となりました。主な内訳は、資本金395,293千円、資本剰余金385,293千円、利益剰余金208,281千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期(平成27年1月1日～平成27年12月31日)の業績予想につきましては、平成27年2月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、(株)スペースマゼランの重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
--

(税金費用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
--

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成27年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	644,713
売掛金	163,846
貯蔵品	1,106
前渡金	196,772
前払費用	14,923
短期貸付金	8,500
繰延税金資産	6,389
その他	3,899
貸倒引当金	△1,000
流動資産合計	1,039,151
固定資産	
有形固定資産	23,195
無形固定資産	
商標権	1,969
ソフトウェア	18,032
その他	1,101
無形固定資産合計	21,103
投資その他の資産合計	43,463
固定資産合計	87,762
資産合計	1,126,913
負債の部	
流動負債	
買掛金	37,680
未払金	31,832
未払費用	41,739
短期借入金	200,000
未払法人税等	2,256
未払消費税等	11,502
前受金	26,907
預り金	9,263
賞与引当金	11,883
その他	1,962
流動負債合計	375,028
負債合計	375,028
純資産の部	
株主資本	
資本金	395,293
資本剰余金	385,293
利益剰余金	208,281
自己株式	△241,159
株主資本合計	747,710
新株予約権	4,175
純資産合計	751,885
負債純資産合計	1,126,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	955,458
売上原価	396,965
売上総利益	558,493
販売費及び一般管理費	640,760
営業損失(△)	△82,267
営業外収益	
受取利息	182
その他	534
営業外収益合計	717
営業外費用	
支払利息	304
株式交付費	31
為替差損	110
その他	74
営業外費用合計	521
経常損失(△)	△82,071
特別利益	
新株予約権戻入益	1,075
特別利益合計	1,075
税金等調整前四半期純損失(△)	△80,996
法人税等	△5,898
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△75,097
少数株主利益	—
四半期純損失(△)	△75,097

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)
	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△75,097
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	—
四半期包括利益	△75,097
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△75,097
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)2	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	住宅・不動産関連 ポータル事業	インターネット 広告代理事業 (注)1	合計			
売上高						
外部顧客への売上高	676,004	240,937	916,941	38,516	—	955,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	639	—	639	1,500	△2,139	—
計	676,643	240,937	917,580	40,016	△2,139	955,458
セグメント利益又は 損失(△)	△72,636	7,178	△65,458	△17,124	315	△82,267

- (注)1. 第1四半期連結会計期間より、従来の「広告代理事業」から「インターネット広告代理事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
3. セグメント利益又は損失(△)の調整額315千円はセグメント間取引消去315千円であります。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

多額な資金の借入

当社は、平成27年10月15日開催取締役会において、資金の借入を行うことについて決議し、借入を実行しております。

- 借入の用途: インバウンド事業の成長戦略の実現を目的とした投資資金の確保
- 借入先: 株式会社りそな銀行
- 借入金額: 100百万円
- 借入条件: 基準金利+スプレッド
- 借入期間: 平成27年10月20日から平成28年6月30日
- 借入の実施時期: 平成27年10月20日
- 担保提供資産又は保証の有無: 無